

令和5年度（2023年度）

管理事業名	文化会館事業				総合計画 の体系	大綱 7 都市魅力				
						政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり				
						施策 1 文化の振興				
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	30	文化会館費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属		文化スポーツ推進室						
事業の目的と概要										
【目的】 文化会館の管理運営（指定管理者による管理運営）及び施設改修の実施により、市民文化の向上を目指す。										
【概要】 ・大・中・小ホール、展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などの施設の使用許可及び使用料の徴収 ・施設及び付属設備等の維持管理 ・催しを円滑に進行し、かつ十分な演出効果が得られるように舞台関係所設備の操作・設備点検などの舞台管理業務										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指 標 の 定 義
開館日数	日	331	331	332	年度内開館日数 （当年度の日数－（保守点検日＋臨時休館日＋年末年始休館日））
貸館利用率	%	41.5	57.3	57.5	年間のホール及び諸室の午前・午後・夜間の区分毎（以下「コマ」と表記）にみた利用率（年間利用コマ数合計／年間提供コマ数合計）
催事開催数 （市主催・自主事業）	事業数 公演数	55 138	63 173	65 151	市主催事業、自主事業の実施数

II 活動実績・成果

【成果指標1】開館日数についての評価 ・開館日数 332日（前年度331日で、1日の増） ・令和3年度以降、休館せずに運営できている。 【成果指標2】利用率についての評価 ・貸館利用率 57.5%（前年度57.3%で0.2%の増） ・令和3年度の貸館利用率は新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していたが、令和4年度及び令和5年度の貸館利用率は増加傾向である。 【成果指標3】催事開催数についての評価 ・令和4年度に公演数の多い事業を実施していたことから、令和4年度と比較して令和5年度の公演数は減少したものの、「SUITA×ART」のオープン記念事業等の新たな取組も実施したことから事業数は増加した。 【財務情報に基づいた評価】 ・令和5年度に文化会館使用料の滞納があったことから、徴収不能引当金は△62千円となった。 【維持補修費についての評価】 ・施設維持補修費比率 0.2%（前年度0.1%で0.1%の増） ・旧さつき跡を若手育成事業実施のためのアトスペース「SUITA×ART」にリニューアルするための修繕等を行った。		
---	--	--

III 課題と今後の取組

大規模改修は実施したものの、供用開始から39年が経過しており、今後も計画的な維持補修が必要である。 新型コロナウイルス感染症の影響により施設運営に大きな制約があったが、令和5年5月8日から、感染法上の位置付けが5類感染症に移行したこと等により、今後市民の文化芸術の鑑賞や発表の場として活用できるよう、効果的な管理運営に取り組む。 また、令和6年4月に設置した若手育成事業実施のためのアトスペース「SUITA×ART」の周知を図り、利用率の向上を目指す。		
--	--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	303,397	303,150	△247
未収金	95	62	△33	地方債	302,364	302,411	46
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,033	739	△294
徴収不能引当金	-	△62	△62	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	6,605,732	6,227,675	△378,057	その他流動負債	-	-	-
土地	2,597,020	2,597,020	-	固定負債	2,358,198	2,053,054	△305,144
建物・工作物	4,008,712	3,630,655	△378,057	地方債	2,348,880	2,046,470	△302,411
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	9,318	6,584	△2,733
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	2,661,596	2,356,204	△305,391
建物・工作物	-	-	-	純資産	4,168,088	4,094,267	△73,821
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	23,856	22,796	△1,061				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	200,000	200,000	-				
出資金	200,000	200,000	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	6,829,684	6,450,471	△379,213	負債及び純資産の部合計	6,829,684	6,450,471	△379,213

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	55,089	67,923	71,542	3,619
国庫支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
府支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,211	4,511	3,558	△952
経常収入 小計 (a)	58,300	72,434	75,101	2,667
給与関係費	11,657	11,844	8,102	△3,742
物件費	440,174	437,381	413,973	△23,407
維持補修費	24,974	6,868	16,066	9,198
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	6,709	622	42	△580
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	403,655	403,654	379,118	△24,537
徴収不能引当金繰入額	-	-	62	62
賞与引当金繰入額	927	1,033	739	△294
退職手当引当金繰入額	1,311	864	△2,394	△3,258
支払利息	15,264	22,585	20,343	△2,242
その他	-	-	-	-
経常費用 小計 (b)	904,670	884,851	836,052	△48,800
経常収支差額 (a)-(b)=(c)	△846,370	△812,418	△760,951	51,467
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計 (d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別費用 小計 (e)	-	0	-	△0
特別収支差額 (d)-(e)=(f)	-	△0	-	0
一般財源調整額 (g)	-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)	△846,370	△812,418	△760,951	51,467
一般財源充当額	527,806	635,618	687,130	51,511
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△318,564	△176,799	△73,821	102,978

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	58,300	72,339	75,134	2,795
行政サービス活動支出	500,414	481,052	459,899	△21,153
行政サービス活動収支差額	△442,114	△408,713	△384,766	23,947
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	85,692	226,905	302,364	75,459
財務活動収支差額	△85,692	△226,905	△302,364	△75,459
収支差額 合計	△527,806	△635,618	△687,130	△51,511
一般財源充当額	527,806	635,618	687,130	51,511
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	文化会館の減価償却による378,057千円の減
【BS】 重要物品	重要物品の減価償却による1,061千円の減
【PL】 物件費	指定管理委託料のうち人件費等の減少による25,584千円の減
【PL】 維持補修費	旧さつき跡を修繕し、若手育成事業実施のためのアトスペース「SUITA×ART」にリニューアルしたことによる13,891千円の増

単位当たりのコスト分析（「経常費用 小計(b)」÷「実績」）

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者1人	コスト 5,169円 実績 175,017人	コスト 3,142円 実績 281,660人	コスト 2,827円 実績 295,707人
開館1日	コスト 2,733,142円 実績 331日	コスト 2,673,266円 実績 331日	コスト 2,518,229円 実績 332日

分析内容	令和4年度以降、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和されたことで利用者が増加し、一人当たりのコストは減少傾向である。
------	--

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	6,405	161	1.09
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	42	-	-
合計	6,447	-	-

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		56.6	60.3	64.0	3.7
施設維持補修費比率		0.2	0.1	0.2	0.1
経常費用対公共資産比率		9.0	8.8	8.3	△0.5
徴収不能引当率		100.0	-	100.0	100.0
受益者負担比率		6.1	7.7	8.6	0.9
一般財源充当比率		90.1	89.8	90.1	0.3